

和歌山信愛女子短期大学 DP 達成度自己評価 2023 年度結果

1) 目的

本調査は、学生の学修状況を可視化し、学生自身が自らの学修状況を評価することで、自身の学びを組み立てられるようにする目的で実施する。

2) 方法

【調査対象】 2022 年度入学生・2023 年度入学生

【調査時期】 入学直後(4 月)、各年次の学期末(9 月・2 月)および卒業時(2 月)

【調査方法】 アセスメントによる Web アンケート調査

【調査項目と評価方法】

DP(ディプロマ・ポリシー)に対応してカリキュラムマップに示された学修成果(下記一覧参照)の達成度を、1～5の5段階で自己評価。

| 学科専攻 | 表記 | 本学の DP に示された学修成果 (DP 学修成果) | DP に対応して、カリキュラムマップに示された学修成果 |
|---------|----|--|--|
| 全学共通 | A | キリスト教の愛の精神に基づいて、一人ひとりを大切にできる豊かな人間性と高い教養を兼ね備え、地域社会で幅広く活躍する女性としての使命感・責任感をもっている。 | 「キリスト教的倫理観」「教養・知性」「情報収集・分析力」「コミュニケーションスキル」「論理的思考力・問題解決力」 |
| | E | 多様な地域課題を理解し、地域社会の一員としての自覚を持って、生涯学び続ける態度が身についている。また、職場や地域の人々と良好な人間関係を構築し、協力して物事を行うことができる。 | 「地域課題解決力」「チームワーク・リーダーシップ」「生涯学習力と自己管理能力」 |
| 生活文化専攻科 | B | 生活と職業に関する専門的知識を修得し、これらが必要とする領域で個性を発揮することができる。 | 「生活に関する幅広い知識」「職業に関する幅広い知識」「文化と社会に関する知識・理解」 |
| | C | 実社会において求められる専門的かつ実践的な技能が身についている。 | 「情報に関する技能」「感性豊かで創造的なデザイン力」「医療・介護・福祉に関する技能」 |
| | D | 知性と論理的思考力を背景に、生活に関係する課題を総合的に分析し、具体的対策を立案、実行するなど、自主的に問題解決に取り組むことができる。 | 「創造的思考力」 |

| | | | |
|-----------------------------|---|---|---|
| 食生活 文化 栄養 専攻 学科 | B | 知識を修得し、人々の食と健康を支える職業人としての使命と責務を自覚している。 | 「社会生活と健康、医療と福祉に関する知識・理解」「人体の構造と機能に関する知識・理解」「食品と衛生に関する知識・理解」「栄養と健康に関する知識・理解」「栄養の教育・指導に関する知識・理解」「給食の運営と食のデザインに関する知識・理解」 |
| | C | 食や医療、介護の現場に必要な技能と表現力を身につけ、人々の健康の維持・増進に貢献できる。 | 「食品と衛生に関する技能」「栄養の教育・指導に関する技能・表現」「給食の運営と食のデザインに関する技能・表現」「医療・介護・福祉に関する技能」 |
| | D | 知性と論理的思考力を背景に、食生活に関する課題を総合的に分析し、具体的対策を立案、実行するなど、自主的に問題解決に取り組むことができる。 | 「創造的思考力」 |
| 保育 科 | B | 子どもや子育て、保育の包括的理解に関する専門的知識を修得し、保育現場で子ども一人ひとりの生活や状況に応じて適切に対応できる。 | 「教育的愛情」「子ども理解」「保育内容の理解」 |
| | C | 教育課程(保育の計画と評価を含む)を理解し、多様な表現力と子どもや保護者に寄り添う共感力を基盤に、子どもの自主性を重視した保育を研究、立案、実行、改善できる。 | 「社会性」「保育の指導力」 |
| | D | 知性と論理的思考力を背景に、子ども・子育てを取りまく社会問題を総合的に分析し、具体的対策を立案、実行するなど、自主的に問題解決に取り組むことができる。 | 「創造的思考力」 |

【回答率】

| 学科・専攻 | 入学年度 | 1年次 | | | 2年次 | |
|------------------|-----------|-------|-------|------|-------|-------|
| | | 入学直後 | 前期末 | 後期末 | 前期末 | 卒業時 |
| 生活文化学科 生活文化専攻 | 2023 年度入学 | 100.0 | 100.0 | 94.2 | - | - |
| | 2022 年度入学 | 100.0 | 96.9 | 93.9 | 100.0 | 100.0 |
| 生活文化学科 生活文化専攻 | 2023 年度入学 | 100.0 | 100.0 | 97.9 | - | - |
| | 2022 年度入学 | 100.0 | 95.0 | 92.5 | 100.0 | 100.0 |
| 保育科 | 2023 年度入学 | 100.0 | 94.8 | 92.8 | - | - |
| | 2022 年度入学 | 100.0 | 95.7 | 92.8 | 100.0 | 100.0 |

小数点第 2 位以下切り捨て

3) 結果概要

[生活文化学科生活文化専攻]

- ・ 両学年とも、1 年次の評価は学期進行と共に徐々に上昇するが、2022 年度入学生では 2 年次の評価は高止まりを示した。特に、学修成果「創造的思考力」に関連する DP「知性と論理的思考力を背景に、生活に関する課題を総合的に分析し、具体的対策を立案、実行するなど、自主的に問題解決に取り組むことができる。」では、学期進行と共に評価が低下する結果となった。

[生活文化学科食物栄養専攻]

- ・ 両学年とも、1 年次の評価は学期進行と共に徐々に上昇する傾向が見られた。

[保育科]

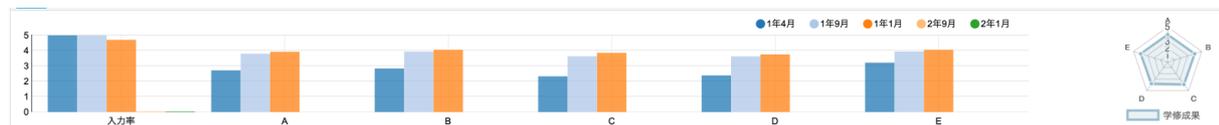
- ・ 2023 年度入学生では、評価は学期進行と共に上昇していた。2022 年度入学生では、1年前期末以降、自己評価が高止まりになる傾向が認められた。

4) 結果

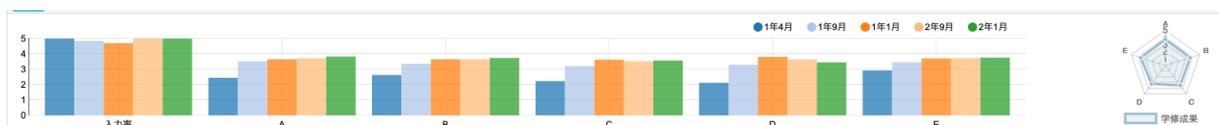
○ DP 学修成果の自己評価(DP に対応して、カリキュラムマップに示された学修成果の自己評価平均)

【生活文化学科生活文化専攻】

[2023 年度入学生]

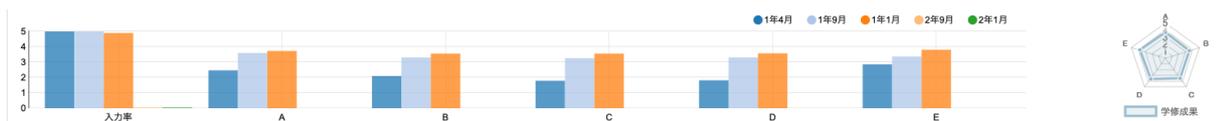


[2022 年度入学生]

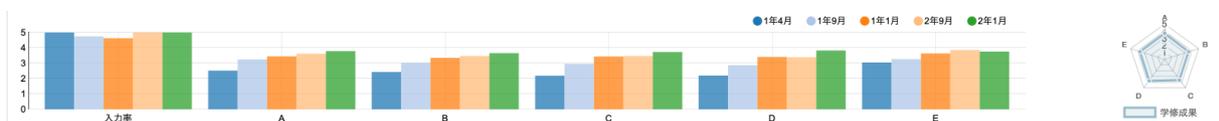


【生活文化学科食物栄養専攻】

[2023 年度入学生]



[2022 年度入学生]



【保育科】

[2023 年度入学生]



[2022 年度入学生]

